

●先月号に投稿した「楊枝宿の歴史」は、思いのほか好評でした。

これといって華のある遺構があるわけでもなく、石碑をいくつか紹介した程度なのですが、不思議なものです。

今月の廃句は、その番外編です。

最初にこれを見たときは、結構な衝撃を受けました。近づけませんでした。

——そしてレポート作成。

少々悩みましたが、過大に感傷的になるのを避けるため、本編からは割愛しました。

でもハードディスクの肥やしにしておくのも惜しいので、こんな形でお披露目することになりました。(つ)

●近くを通ることになったので、相坂隧道へ懸案を片付けに行ったのですが、狙った通りのものがあったり、思いがけない発見があたりして、なかなか充実したひとときを過ごしました。これだったらもっと早くに行っていれば……と
思ったり思わなかったり。

それにしても前回の訪問から約5年、あきら氏のレポートからも10年近く経っていたとは気づきませんでした。時が経つのは早いものです。隧道はほとんど変わらぬ姿で在り、私もさして変わらないコトをしていて、同じ10年が経ったのだなと妙な感心をしたのでした。有巢峠で感じたのとは逆の印象ですな。

ちなみに相坂隧道はこの近辺では有名な心霊スポットになっています。隧道に使われている煉瓦の数を数えると、近くの沼に住む河童に追いかけられるとか(笑)。刻印を探してトンネルに登ったりしたらどんな怪異が起こるやら
知れませんか。(な)